

将来の夢は 日本一の牛を育てること

菊池輝樹さん

きくち・てるき

緑峰高校二年 附馬牛町



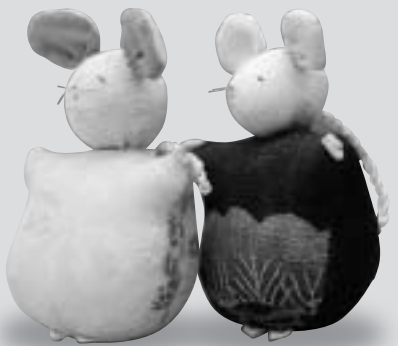
「夢は日本一の牛を育てること」。

毎日新聞社が主催する「二〇〇七年度毎日農業記録賞」高校生部門で、応募九一四点の中から優秀賞に選ばれた菊池輝樹さん。『自らの夢』と題し、曾祖父の時代から続いてきた家業の畜産業の再興を目指す思いを四〇〇〇字にしたためた。▽小学五年で「牛を飼いたい」と夢を抱き、家族とともに牛の世話に汗を流した日々▽BS E(牛海面状脳症)による価格の暴落で家業の畜産業が廃業したこと▽「消費者に安心して食べてもらえる牛肉の生産」を目指し、日々勉強する現在」。これまでの体験を生かし、夢の実現に向けて具体的に将来を見据えている内容が、審査員の目に留まった。

二年生から始まった専攻学習は迷わず「畜産専攻班」を選択。牛の飼育をしたり、畜産農家を見学に行ったりする中で、「畜産経営の大変さを痛感した」と話す。盛岡で暮らす姉も含めて十三人の大家族。まだ小さい弟や妹もいるため「早く一人前になって家計を支えなければ」という思いもある。「焦ることはない。しっかり考えて、自分がやりたいことをやればいい」一番の理解者、父・映仁さんがそっと背中を押してくれる。「胴蹄師や家畜商の資格、大型特殊免許も取りたい」。夢の実現に向けた思いは一層膨らんでいる。

●毎日農業記録賞

農業を取り巻く厳しい環境の中で、農業に携わる人々が活力を得よう励まし、希望を抱いてもらおうと1973年度に創設。2003年度からは、将来の担い手を目指す高校生を対象にした「高校生部門」が創設された。



新春特集

主役は

いよいよ始まった二〇〇八年。遠野をもっと元気にしようかと奮闘する人たちがいる。それぞれの夢に向かって頑張っている人たちがいる。そんな遠野の人たちにクロージアップ。

スペシャルインタビュー 私たち！

